

2023年度水環境文化賞を受賞して

NPO 法人 海浜の自然環境を守る会 理事長 前田 文信

甲子園浜は、大阪湾の最も奥に位置し、阪神甲子園球場から南へ1 km、住宅街のすぐそばにあって、東西およそ1.8 kmの、砂浜・磯・干潟のある海岸です。

高度経済成長期、甲子園浜を全面埋め立てて流通港湾施設を建設する計画が報じられると、地域の母親たちは、のちに住民たちも一緒になって埋立工事差止め訴訟を起こし、1982年に埋立面積を半減し、地域の計画に住民が参加する協議会を設立することで和解が成立し、甲子園浜が残りました。

自然は何もしないでは守りきれないとの考えのもと、地域住民とともに、支えられながら、甲子園浜を次世代へとつなぐ活動をしています。

わたしたちNPO法人海浜の自然環境を守る会は、2004年設立。

甲子園浜を守り、学び、伝えるという原則のもと、地域住民との清掃活動を始め、大阪湾生き物一斉調査、野鳥観察会、海浜植物の調査と保護のほか、甲子園浜の歴史を学んで海の遺跡を探検しよう・夜の甲子園浜観察会といったイベント、講演会や特別展の開催など年間を通

じて活動し、ニュースやホームページ、Facebook、地域回覧で情報発信しています。2023年10月には設立20周年記念特別展を開催しました。

甲子園浜には国指定の鳥獣保護区があります。冬の間にはカモ類が海面でゆっくり羽を休め、春秋にはシギ、チドリ類が渡りの途中で飛来して採餌します。西宮市とも協力して、安心して採餌できる野鳥のレストランであり続けるよう運動をしています。

甲子園浜の歴史は、日本の歴史とも重なり合い、とくに近代以降の日本の発展にともないさまざまな影響を受けてきました。戦争と平和、また環境の問題について考えるうえでも、最適な教材となります。漁業が行われ、海水浴場であった時代があったことをしっかりと子どもたちへ伝えることは、わたしたちの責任であると考えます。

西宮市内でも甲子園球場のすぐ南に、カニやヤドカリと遊べる水辺があることを知らない子どもたちがいます。もっと甲子園浜を知ってもらい、甲子園浜で遊んだ思い出を作ってもらいたいと思って、活動を続けていきます。



写真1 西宮海上保安署も協力して海浜清掃をしました



写真2 堤防から野鳥を観察します



写真3 小魚を獲る網を使って夜の観察会



写真4 専門家に来ていただいて外来植物調査



写真5 毎年実施している大阪湾生き物一斉調査



写真6 甲子園浜の遺跡を探検するイベント